



木本 新一 議員

スポーツ振興と地域の活性化策について

ぎふ清流国体

【問】冬季国体を終えて市長の所感を伺う。

【答】競技運営と地域の協力に感謝する。競技力・地域力の向上、観光面など本大会に向けて目的達成に努める。



ぎふ清流国体の啓発(市役所入口)

スポーツ振興について

【問】スポーツ基本法制定による市の基本計画の変更はあるか。

【答】基本法でスポーツ推進と活力ある社会の実現が明記されているが、市の計画は特に

変更ない。

【問】スポーツ推進のため推進団体の要望には極力応える必要があると考えるが。

【答】内容を把握し緊急度に応じて対応する。

全国高校選抜スキー大会(ノルディック種目)

【問】来年以後の開催は他県に委ねるのか。

【答】諸事情により他県に依頼している。

【問】(財)地域活性化センターの補助金で10年間継続開催の約束を反故にするのか。

【答】活性化センターの理解を頂いている。

【問】市のスポーツ振興計画の変更は、市教委との調整が必要だが。

【答】計画の方針変更について協議していく。

【問】議会への報告は。

【答】今後の活性化策も含め協議報告する。

【問】次回は開催し、その後は関係者と十分検討して決定していくことはどうか。

【答】次の開催地が決定していない段階なので関係者の皆さんにも理解を求めていく。

公営スキー場(飛騨高山・モンデウス・アルコピア)について

【問】運営の状況と新たな取り組みはどうか。

【答】厳しい状況にある。19歳リフト無料化等取り組んでいる。

【問】海外戦略としての誘客はあるのか。

【答】既に市長のトップセールスにも含まれ実施している。

【問】公設スキー場戦略会議(仮称)の設置で検討できないか。

【答】今後一層3スキー場を連携させる方向で活性化に努力していく。



中田 清介 議員

乗車率の向上が公共交通維持のポイント

まちなみバスと拠点駐車場の連携が必要

【問】自家用車の観光客を拠点駐車場で受け止め、乗車率向上へ結びつける発想が必要だ。

【答】不動橋、天満、空町、駅西駐車場付近にバス停を設置している。観光パンフやホームページ等で周知を図っており、2月の利用者は3582人、徐々に増えている。

【問】利便性向上への努力が欠かせないが、役所の発想では限界がある。その為には民間のマーケティング力、経営感覚が必要。まちなみバスと拠点駐車場の運営管理をセットで民間委託すべきである。

【答】公社による駐車管理を民間に委託す

ることは考えていない。

【問】都市経営や持続可能性からいえば、官の限界と民の可能性を見極める必要がある。高付加価値のまちづくりや公共空間の整備の前提となる、まちなみバスの維持には必要な発想ではないか。

【答】民間の柔軟な発想や活力を取り込んでのまちづくりを、今後検討していきたい。

【問】民間化によるまち



可能性に向け新たな発想を(まちなみバス)

づくりへの再投資と雇用の場の創出は、収益を上げるまちづくりの第一歩といえる。

【答】まちづくり会社の活動がまだ見えていない。そちらの方策をまず考えるべきと思う。

北陸新幹線開業を見据えた課題と対応

【問】高山本線の接続や増便等に課題があると思うが対応は。

【答】JR東海、JR西日本に対し、沿線自治体等と高山本線強化促進同盟会を組織して要望活動を強化している。

【問】首都圏、関西圏とも時間的に短縮される。バス交通も含めた経済効果については。

【答】高山市にとっても大きな経済効果があると認識している。越中飛騨観光協議会やバス事業者とのバスの運行実験も予定。金沢方面も加え2次交通の強化に努める。